

第6回 化学工学会エネルギー部会 熱利用分科会研究会
「骨太のエネルギーロードリサーチ(3)
ここまで来た都市エネルギーソリューション in 汐留」レポート

化学工学会エネルギー部会 熱利用分科会
小倉裕直(千葉大)

日時：平成15年5月23日 金曜日 13:10~17:00
集合場所：汐留アネックスビル1Fロビー 13:10
(JR新橋駅汐留口より、ペDESTリアン・デッキを進む。全徒歩5分)
会場：汐留アーバンエネルギー(株)、電通本社ビル
企画担当：小倉裕直(千葉大)・加藤之貴(東工大)

今回は、新しい熱エネルギー利用技術の創造を目指して「骨太のエネルギーロードマップ」をテーマとして企画を進めている研究会シリーズのひとつとして、日本の最新エリアである東京・汐留地区のエネルギーシステムおよび街づくりに関する見学会と講演会が行われた。あわせて懇親会も開催された。

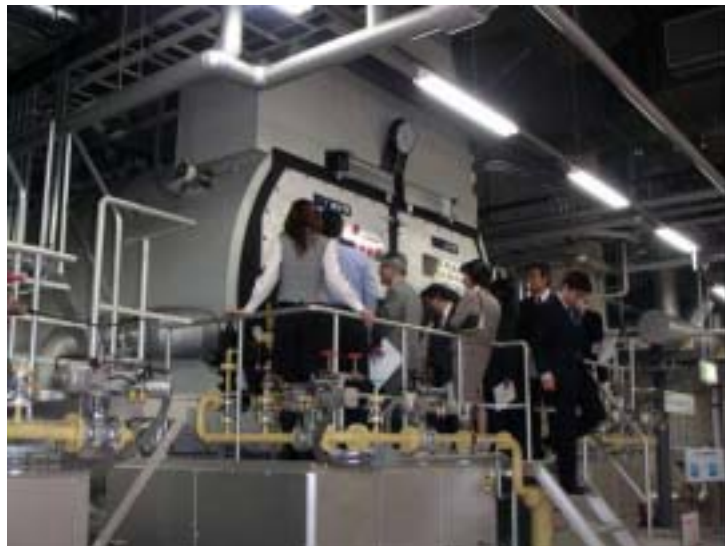
プログラムは下記の通りであった。

13:10 汐留アネックスビル1Fロビー集合
13:20~15:00 汐留アーバンエネルギー(株) 汐留地区地域冷暖房システム見学
15:00 電通本社ビル36階 36B-2会議室に移動
15:30~15:50 電通本社ビル施設の紹介
16:00~16:40 講演「汐留地区の街づくり」
盛和春氏((株)電通 オフィス環境局)
16:40~17:00 「フリートーク：熱利用研究開発と分科会活動に関して」
加藤之貴(分科会代表)
17:30~19:00 懇親会

今回の見学会は、加藤代表のお世話により企画され、講演会は小倉副代表の企画に基づいた。

見学会・講演会参加者は34名、懇親会参加者16名であった。亀山エネルギー部会長も、お忙しい中懇親会には駆けつけていただいた。

汐留アーバンエネルギー(株)汐留地区地域冷暖房システムに関しては、汐留地区開発の進む中、汐留アーバンエネルギー(株)が持込資本11億円で平成10年に設立されて進められたプロジェクトである。大型マルチ蓄熱槽、各種冷凍機、ボイラー、熱交換器等を、主に地下1-4階に持つ大型システムである。A街区およびC街区のコジェネシステムの排熱を買い取り有効に利用し、全街区9.4haに温水・冷水を、メインシステムである汐留プラントから62,273kW、汐留サブプラントから16,230kW供給している。



参加者は、これらの設備を写真にあるように実際に間近に見て、また別室で説明ビデオ

の視聴および担当者との質疑応答を行った。普段なかなか見る機会のない大型システムの
見学は大いに有意義であった

その後、電通本社ビル 36 階 36B-2 会議室に移動し、電通説明ビデオの視聴の後、(株)電通の盛和春氏から「“汐留シオサイト”の街づくりについて」と題した講演を頂いた。汐留地区は、江戸時代から由緒ある港町であるが、大正3年から大型貨物専用駅として活躍していた。しかしながら、昭和48年の東京貨物ターミナルの開業に伴い転機を迎え、国鉄民営化1年前の昭和61年に廃止となった。その後、平成2年の域内道路都市計画決定にはじまり、平成7年の土地区画整理事業計画決定、平成8年の再開発地区計画、用途地域の都市計画変更等を経て、平成14年には、その主要部分が開業した。その間、街づくりに向けて、「汐留地区街づくり協議会」が平成7年に設立され、規制にとらわれない成熟した街づくりを、官民のバランスの取れた自立的システムの中で行われた。その結果、統一されたアーバンコンセプトに基づいた、環境にも配慮した豊かな空間が生み出された。

参加者は、この落ちつた空間の中に身を置き、サステイナブルな特に省エネルギーを意識した街づくりを行っていく上で大いに参考となる都市開発秘話に聞き入っていた。

その後、以上の2会場の間にある L'ENSEMBLE(ランサンブル) カレッタ汐留店にて、懇親会が開催された。会員と盛講師、亀山エネルギー部会長の気の置けない、されど非常に貴重な会話が弾み、あっという間に終了の時間を迎えた。

今回は、エネルギーシステム見学、街づくり講演、という異業種交流的な会であることに加え、ちょっとおしゃれな会場での懇親会に、いつもとは違う経験をしたと感じていただければ幸いである。

